

# 西洋古典論集

## X

- イーリアスにおける神々—人間界を映す鏡—……………脇本由佳(1)
- テイブッルス第2巻第6歌における死のモチーフについて……………岩崎 務(15)
- ミネルワとアラクネ『変身物語』第6巻1-145行……………高橋宏幸(30)
- The Rape of the Lock と古代叙事詩のモチーフ  
—「力か策略か」をめぐって—……………上村健二(54)
- 書評
- G.Nagy, Comparative Studies in Greek and Indic Meter; id., On the  
Origins of the Greek Hexameter: Synchronic and Diachronic Per-  
spectives (箕田正開)……………(64)
- 英文要約……………(78)

1992年

京都大学西洋古典研究会

執筆者

脇本由佳：京都大学博士課程

岩崎 務：京都大学非常勤講師

高橋宏幸：京都工芸繊維大学助教授

上村健二：日本学術振興会特別研究員

箕田正聞：京都大学研修員

編集委員

松本仁助・岡 道男・中務哲郎・山下太郎

## 京都大学西洋古典研究会規約

1. 本会は京都大学西洋古典研究会と称し、本部を京都大学文学部西洋古典研究室におく。
2. 本会は次の事業を行う。
  - (イ) 研究誌「西洋古典論集」の刊行。
  - (ロ) 研究会、講演会等の開催。
  - (ハ) 研究資料の蒐集および交換。
3. 本会の会員は京都大学文学部西洋古典研究室出身者および西洋古典学に関心を持つ者とする。
4. 会員の中から「西洋古典論集」編集委員および会計担当幹事を選出する。
5. 会員は年額2000円（学生は年額1000円）を納める。

---

西洋古典論集 X 1992年9月30日発行

編集・発行者 京都大学西洋古典研究会

〒606-01 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部西洋古典研究室気付

電話 (075)753-2821

振替 京都0-50673

印刷 文和堂

---

# CLASSICAL STUDIES

Editors: Nisuke Matsumoto, Michio Oka, Tetsuo Nakatsukasa, Taro Yamashita

## X

### Contents

Yuka Wakimoto: Gods in the Iliad —The Glass Reflecting the Human World—	(1)
Tsutomu Iwasaki: The Motif of Death in Tibullus 2.6	(15)
Hiroyuki Takahashi: Minerva and Arachne	(30)
Kenji Kamimura: The Rape of the Lock and the Epic Motive: “Fraud or Force”	(54)
Book Review	
G. Nagy, Comparative Studies in Greek and Indic Meter; id., On the Origins of the Greek Hexameter: Synchronic and Diachronic Per- spectives (Masaharu Mita)	(64)
Summaries	(78)

**The Classical Society of Kyoto University**

Department of Classics, Faculty of Letters  
Kyoto University, Kyoto, Japan

1992